



Trusted Digital Ecosystems 顧客開発

信頼されるデジタル・エコシステムの価値を伝える

目次

1. どのように複雑な技術的トピックを伝えるか
2. 分散型アイデンティティの価値を伝える方法
3. 顧客のユースケースを特定する



どのように複雑な技術的トピックを伝えるか

どのように複雑な技術的トピックを伝えるか

相手が理解できるように話す：

- 市場のペルソナを考える。
- 親しみやすい言葉を使う。
- 専門用語や専門用語はできるだけ避ける。
- 具体的な例を挙げながら、明確で簡潔な言葉を使う。
- 相手のペインを特定し、あなたがどのように問題を解決できるかを伝える。
- 相手にとってのメリットに焦点を当てましょう。



分散型アイデンティティの価値を伝える方法

デジタルアイデンティティの問題によるコスト

企業

- 詐欺
- ハッキングと違反
- セキュリティ
- 個人情報保護法令遵守
- 非効率性とエラー
- 生産性の損失
- イノベーションの阻害

顧客

- 負荷
- 劣悪なUXとCX
- プライバシー

5兆3800億ドル
世界経済における
年間コスト



従来のID管理

中央集権型IDとフェデレーション型ID

- データは第三者によって管理・保存される。
- データ管理には、同意、法令遵守、透明性という課題がある。
- データ保管は一部の障害によるセキュリティリスクをもたらす。
- データ共有には直接的なデータベースの統合が必要だが、これはコストがかかり、技術的にも複雑で、セキュリティ・リスクを拡大する。

今日のアイデンティティの仕組み

一般的なデジタルID

- メールアドレス
- 物理的なハードウェア
- 秘密の交換
- 画像のクリック
- コード入力

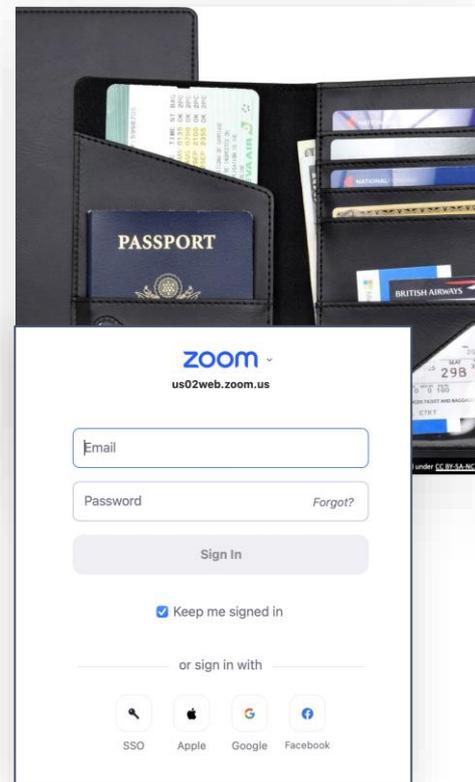


"On the Internet, nobody knows you're a dog."

最も一般的なアイデンティティ

ユーザー名とパスワード、紙の書類、
プラスチックカード

- 多すぎる（#100のパスワード）
- 管理が難しい
- 使いにくい
- 偽造、ハッキング、紛失、盗難が容易
- 2022年に240億のパスワードが漏洩
- デジタルIDの詐欺とコストの増加



分散型アイデンティティとは何か？

知っておくべきこと

- IDを管理する中央機関の必要性を排除する。
- データを共有するためにデータベースを直接統合する必要がなくなる。
- 分散型台帳技術（許可型ブロックチェーン）、新しいWEB規格、およびオープンソース技術を使用して、デジタルアイデンティティとデータの整合性を検証する新しい方法を作成する。
- データ同意の提供、プライバシーの保護、コンプライアンスの簡素化。
- オープン標準はグローバルな相互運用性をサポートする。

分散型アイデンティティとは何か？

相手が知るべきこと

- データベースを直接統合することなく、検証を行うことができ、不正を減らすことができる。
- 価値の高い検証可能なデータが直接統合することなく負荷なく共有でき、コストを削減できる。
- 検証可能なデータは、他のベンダーやプラットフォーム、Walletと相互運用可能であり、ユースケースを拡大し、イノベーションを促進し、新たな収益源を生み出す。
- 検証可能なデータはすぐに対応することができ、非効率性や重複プロセス、エラーを排除することができる。

分散型アイデンティティとは何か？

相手が知るべきこと

- 検証可能なデータは、シームレスなプロセスの基礎となり、顧客体験を向上させる。
- 検証可能なデータは、データ所有者によって保有され、同意によって共有されるため、データプライバシーの法令遵守が簡素化される。
- 検証可能なデータは、ゼロトラスト・セキュリティを簡素化し、データ侵害のリスクを低減する。

VCとは何か？

知っておくべきこと

- データを発行、保存、共有するデジタルな方法。
- 所有者は自分のデータを保有し、誰と共有するかをコントロールできる。
- 通常、モバイル端末のWalletアプリに保管される。
- VC内の情報のソースは暗号的に検証可能である。
- データの完全性は、ブロックチェーンを使用することで検証される。
- VCは、生体認証でWalletアプリおよびモバイル端末に保管できる。
- つまり、第三者を介したり、データのソースを確認したりすることなく、VCを検証することができる。

VCとは何か？

相手が知るべきこと

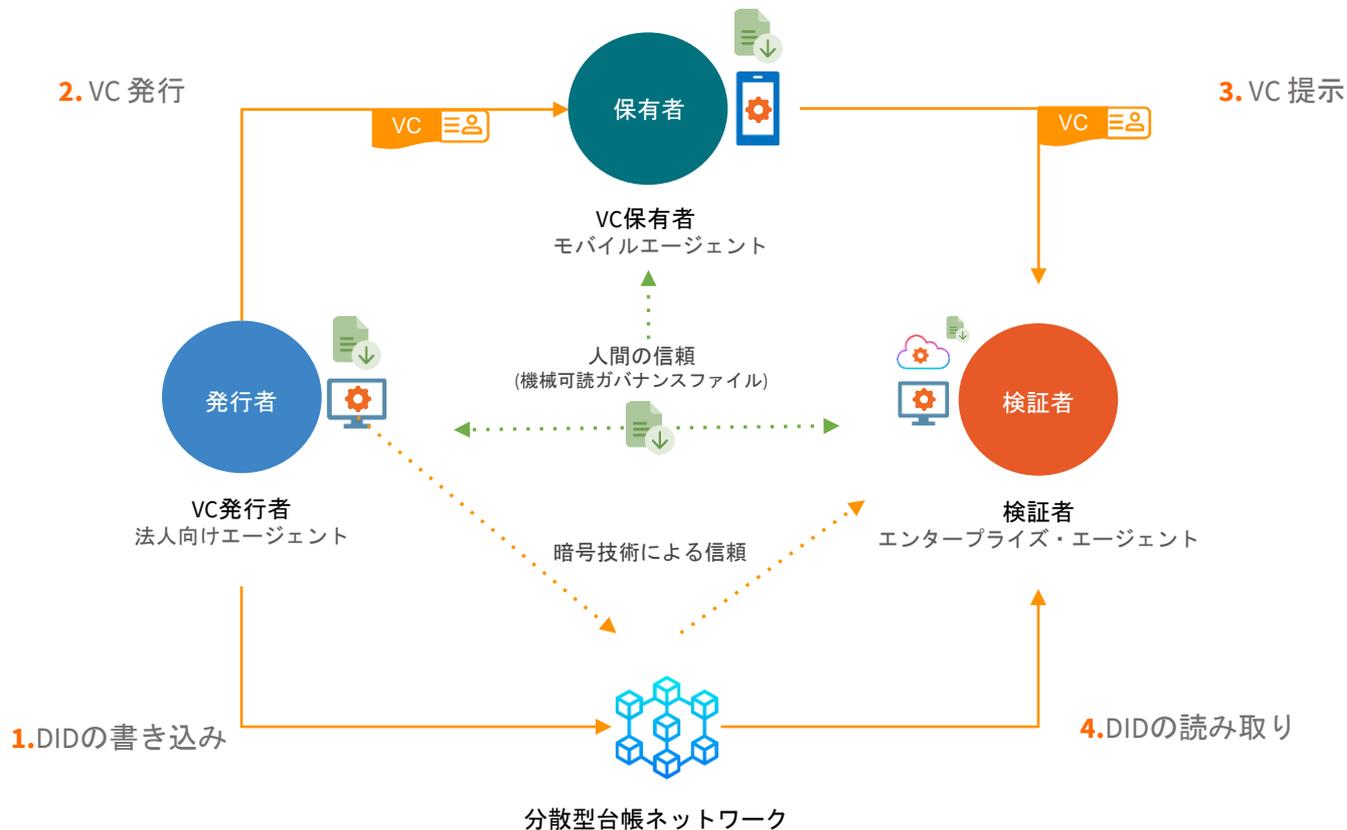
- データを発行、保存、共有するデジタルな方法。
- 所有者は自分のデータを保有し、誰と共有するかをコントロールできる。
- 通常、モバイル端末のWalletアプリに保管される。
- VC内の情報のソースは暗号的に検証可能である。
- VCは、生体認証でWalletアプリおよびモバイル端末に保管できる。
- つまり、第三者を介したり、データのソースに確認したりすることなく、VCを検証することができる。

伝え方を変える

話さず見せる

- デモンストレーション
- ビジュアル
- お客様の声
- 客観的データ
- インタラクティブな体験
- 交流会／ウェビナー／座談会

VCを使用して、信頼されるデジタル・エコシステムを構築する





顧客のユースケースを特定する

関連するユースケースに焦点を当てる

相手に響くユースケース、アプリケーション、業界を見つける

- デモンストレーション
- 親近感を持たせる
- 信頼性の構築
- 機会を特定する

市場における分散型アイデンティティ

事例を挙げる：

- 実用的な検証済みデータ
- プライバシー保護／データ同意
- 真の関係性
- 効率性
- 不正行為の削減
- ゼロトラストのセキュリティ
- データベース統合

業界の例：運輸 旅行 観光

- DTC（Digital Travel Credentials -デジタル旅行資格情報-）
- チェックインのデジタル化で空港の行列がなくなる
- シームレスな国境越え
- ホテルのチェックインと入室の事前承認
- 旅行のカスタマージャーニーにeコマースを統合する
- プライバシー保護に配慮した健康検査の要求
- オペレーションや物流の管理には、検証可能なデータが重要であり、効率を高める。

業界の例：政府/公共部門

- 運転免許証などの公的身分証明書
- 事業者の認証管理
- バイタルレコード管理
- 年齢確認
- デバイスの認証と監査

業界の例：銀行/金融サービス

- 個人口座認証
- 再利用可能なKYC
- ファイナンシャル・インクルージョン
- 不正利用や詐欺の軽減

業界の例：小売

- 会員登録、アカウント作成
- パートナーとの利益分配
- 不正利用の軽減
- カスタマーサービス、コールセンターの効率化

まとめ

- 企業／決裁者は費用対効果を確認する
- カスタマーエクスペリエンスの重視
- 顧客、業界、市場の言葉を映す
- 技術的な細部で惑わせない
- 顧客にとって重要なユースケースを説明する
- 技術的な詳細も添える



ご清聴ありがとうございました